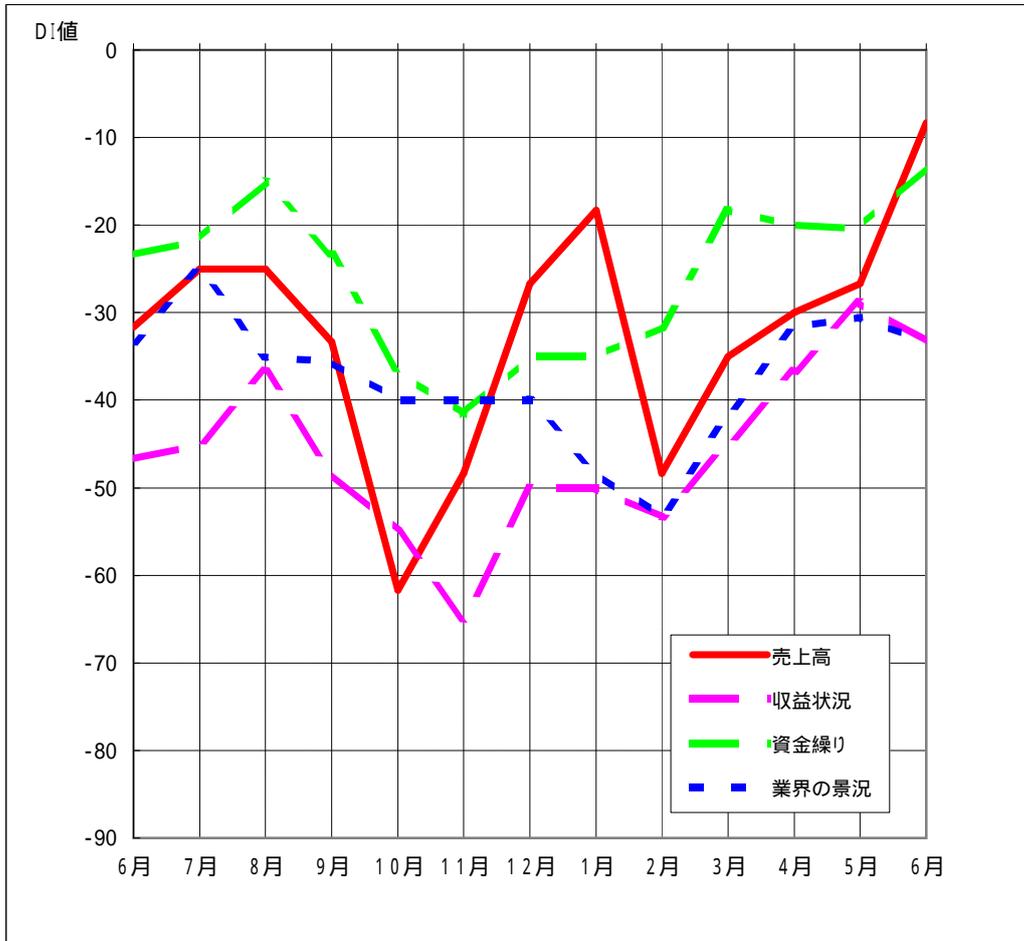


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成16年6月～平成17年6月

単位:ポイント



	h16						h17						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	-32	-25.0	-25.0	-33.3	-61.7	-48.3	-26.7	-18.3	-48.3	-35.0	-30.0	-26.7	-8.3
収益状況	-47	-45.0	-36.7	-48.3	-55.0	-65.0	-50.0	-50.0	-53.3	-45.0	-36.7	-28.8	-33.3
資金繰り	-23	-21.7	-15.0	-23.3	-36.7	-41.7	-35.0	-35.0	-31.7	-18.3	-20.0	-20.3	-13.3
業界の景況	-33	-25.0	-35.0	-35.6	-40.0	-40.0	-40.0	-48.3	-53.3	-41.7	-31.7	-30.5	-33.3

6月のDI値をみると、前年同月より「景況」DI以外の上記3項目で好転した。「売上高」DIは前年同月より23.4ポイント改善し、マイナス一桁台に推移した。「収益状況」DIにおいては、13.4ポイント改善し、マイナス30%台に推移。「資金繰り」DIは、10.0ポイント改善し、マイナス10%台に推移。「景況」DIは前年同月と同ポイントであり、マイナス30%台を継続中。ここ3ヶ月の傾向値をみると、「売上」DIは僅かに回復基調にあるが、それ以外では一進一退で推移していることから売上が収益等に結びつきにくい要因があることが窺える。多くの報告より売上原価の高騰、価格競争による安値販売等がその要因であるとし、中小企業の業況は、依然として厳しい状況にある。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、組合員間格差があるものの受注増とするが、原材料は高値推移で続いているとの報告が多い。だが、「食料品」の一部では、新潟県中越地震の影響で売上が低迷しているとの報告もある。全体的に非製造業において、売上低迷に加えて価格競争や原材料高騰により厳しい状況であるとの報告が多い。だが、「卸売業」「建設業」の一部で、新潟県中越地震の復旧需要により売上増とする報告があった。総体的に中小企業は、価格競争及び原材料費高騰等により依然として厳しい現況であることが窺われる。